

保護者などからの事業所評価の集計結果（公表）


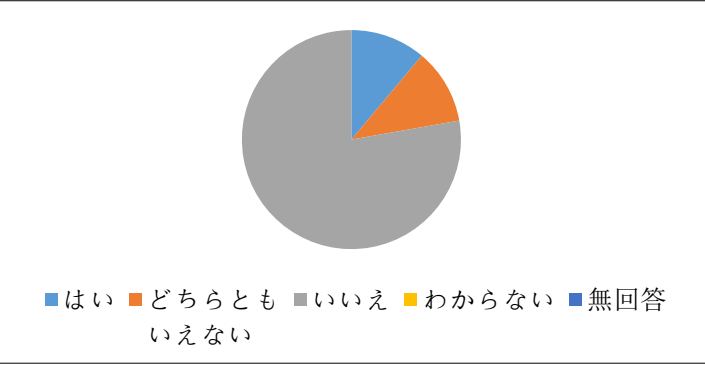
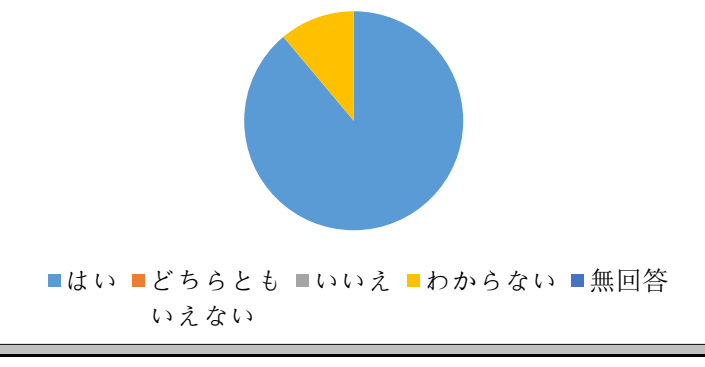
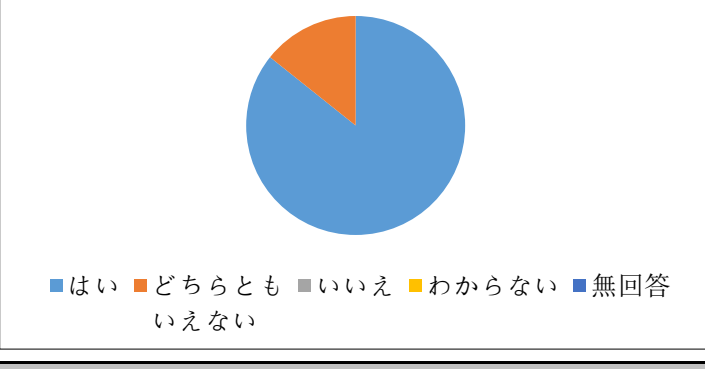
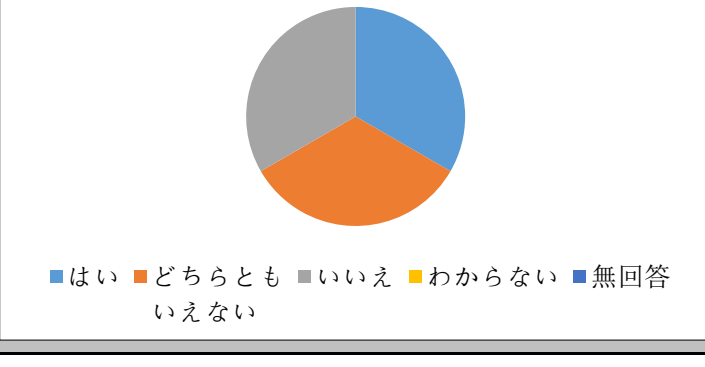



公表： 令和5年3月31日

児発 職員

事業所名 湘南北部療育センター

職員数11 回答数9 割合 81.8%

	質問	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	8	0	1	0	0			
	② 職員の配置数や専門性は適切ですか	5	3	1	0	0		いいえ:たりていない	専門性の向上に向けて研修機会などに参加してもらえる体制を検討しております。
	③ 生活空間は本人にわかりやすい構造化された環境になっていますか。また特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされていますか	5	2	2	0	0			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていますか	4	4	1	0	0			
	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ^{II} が作成されていますか	8	0	0	1	0			
適切な 支援の 提供	⑥ 児童発達支援計画には、ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されていますか	7	0	0	2	0			
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか	8	0	0	1	0			

	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		
⑧ 活動プログラム ^{III} が固定化しないよう工夫されていますか	8	1	0	0	0		
⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、他の子どもと活動する機会がありますか	1	1	7	0	0		
⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか	8	0	0	1	0		
⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がありましたか	6	1	0	0	0		
⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ^{IV} 等）が行われていますか	3	3	3	0	0		
⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	8	1	0	0	0		
⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	8	1	0	0	0		
⑮ 父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	1	4	4	0	0		

保護者への説明等

	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答			
⑩ ⑯ ⑰ ⑱	8	1	0	0	0			
⑱	8	1	0	0	0			
⑲	6	0	2	0	0			
⑲	8	1	0	0	0			
非常時等の 対応	⑳	6	3	0	1	0		
	㉑	9	0	0	0	0		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答		

満足度		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	無回答			
		⑫ 子どもは通所を楽しみにしていますか	5	2	0	0			2
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	無回答			
	⑬ 事業所の支援に満足していますか	5	2	0	0	2	<p>■はい ■どちらとも いえない ■いいえ ■わからない ■無回答</p>		

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、何をするのか子ども本人がわかりやすい配置や工夫のことです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び、達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。